

(本件に関する照会先)

日本銀行高松支店 総務課 087-825-1102

2019年4月5日

日本銀行高松支店

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、回復している。

すなわち、設備投資は高水準となっている。個人消費は着実に持ち直している。住宅投資は、貸家を中心に減少してきたが、このところ下げ止まっている。公共投資は減少している。こうした中、企業の生産動向は、振れを伴いつつも、緩やかに持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得も緩やかに持ち直している。この間、企業の業況感は、良好な水準を維持している。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、高水準となっている。

3月短観における設備投資（全産業）をみると、2018年度は、前年を上回る見込みとなっている。2019年度は、現時点では、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、着実に持ち直している。

大型小売店の売上は、着実に持ち直している。

乗用車の新車登録台数は、持ち直している。

家電販売は、堅調な動きとなっている。

旅行取扱額は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。

住宅投資は、貸家を中心に減少してきたが、このところ下げ止まっている。

公共投資は、減少している。

- 企業の生産動向は、振れを伴いつつも、緩やかに持ち直している。

非鉄金属は、高水準で推移している。窯業・土石は、高めの水準で推移している。輸送機械は、持ち直している。金属製品は、緩やかに持ち直している。汎用・生産用機械は、振れを伴いつつも、全体としては緩やかに持ち直している。化学、食料品、プラスチック製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、一部で弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得も緩やかに持ち直している。

- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、1%程度となっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（2月）は、前月から伸び率は横ばいとなった。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、2月末0.984%〈前月末0.991%〉）。

- 預金（2月）は、前年を上回った。

- 倒産および信用保証協会の代位弁済については、落ち着いた状況が続いている。

以 上